



ファームウェアバージョン :	R6.31.B038	
ハードウェアバージョン :	DGS-1210-10	F1
	DGS-1210-10P	
	DGS-1210-10MP	F1/F3
	DGS-1210-20	F1/F2
	DGS-1210-28	F1/F2/F3
	DGS-1210-28P	F1
	DGS-1210-28MP	F1/F2/F3/F4
	DGS-1210-52	F1/F2/F3
発行日 :	2024/3/5	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

## 目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	3
アップグレード作業時の注意事項 .....	3
バージョンの互換性に関する注意事項 .....	3
ファームウェアファイルの適用手順について .....	4
アップグレード手順 :	4
追加機能 :	10
MIB の変更点 :	10
修正した問題点 :	10
既知の問題 :	11

**変更履歴とシステム要件：**

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R6.31.B038	2024/3/5	DGS-1210-10	F1
		DGS-1210-10P	
		DGS-1210-10MP	F1/F3
		DGS-1210-20	F1/F2
		DGS-1210-28	F1/F2/F3
		DGS-1210-28P	F1
		DGS-1210-28MP	F1/F2/F3/F4
		DGS-1210-52	F1/F2/F3

変更履歴	
2024/3/5	・初版リリース
2024/7/25	・対応製品に DGS-1210-10MP/F3 を追加 ・ DGS-1210-10MP/F3 に関する制限事項を追記
2025/1/24	・対応製品に DGS-1210-20/F2 を追加

## アップグレード時の注意事項：

### アップグレード作業時の注意事項

- ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。
- リンクアグリゲーション（LAG）、スパニングツリー（STP）を使用している場合は、ファームウェアアップグレードの操作中、DGS-1210 の動作が不安定になる可能性があるため、ネットワークから切り離して実施してください。
- HTTPS 経由でのファームウェアアップグレードには対応していません。

### バージョンの互換性に関する注意事項

アップグレードを行う前に、ご利用の H/W および F/W バージョンを必ずご確認ください。

#### ご利用の H/W バージョンによる制限事項

ご利用の製品および H/W バージョン	注意事項
DGS-1210-10MP/F3	R6.31.B038 から R6.30.022 以前のバージョンへのダウングレードはサポートされません。
DGS-1210-28/F3 DGS-1210-28MP/F3、F4 DGS-1210-52/F3	R6.30.022 以降のバージョンから R6.20.B020 以前のバージョンへのダウングレードはサポートされません。 <sup>※1</sup>

※1 DGS-1210-28/F3、DGS-1210-28MP/F3 及び F4、DGS-1210-52/F3 以外の製品における R6.20 へのダウングレードは可能です。

#### ご利用の F/W バージョンによる制限事項

ご利用の F/W バージョンおよび操作	注意事項
R6.10.B010 以降のバージョンから古いバージョン（6.00.Bxxx）へのダウングレード	非サポート <sup>※2</sup>
R6.11 および R6.20 から R6.10.B010 へダウングレード	帯域制御の設定は引き継がれません。
R6.11 または R6.20 のバージョンで取得したコンフィグを R6.10.B010 のシステムへリストアした場合	
R6.30.022 以降のシステムで取得したコンフィグレーションファイルの R6.20 以前のシステムへのリストア	R6.20 以前のシステムとの互換性なし <sup>※3</sup>
R6.20 以前のシステムで取得したコンフィグレーションファイルの R6.30.022 以降のシステムへのリストア	R6.30 と互換性あり、適用可能 <sup>※4</sup>

※2 R6.10.B010 以降では、シリーズ共通のファームウェアイメージへと統合されています。

※3 R6.30 以降のシステムで取得したコンフィグレーションファイルを古いバージョンを使用している互換性のない機器に適用しないでください。予期せぬ動作を引き起こす可能性があります。

※4 R6.20 以前のバージョンから R6.30.022 以降のバージョンへアップグレードした際に、コンフィグレーションを引継ぐことが可能です。また、R6.20 以前のシステムで取得したコンフィグレーションファイルを R6.30.022 以降のシステムへリストアすることが可能です。

## ファームウェアファイルの適用手順について

V6.30 では新しいイメージファイル (.con) で暗号化に対応しています。V6.20 以前のバージョンからアップグレードする場合、以下の手順でファームウェアファイルを適用し、アップグレードを実施する必要があります。

- ① V6.20 以前のバージョンから v6.30.016 (.hex) にアップグレード
- ② もう片方のイメージに v6.31.B038 (.con) を適用

適用順序	ファイル名
①	DGS1210_Fx_FW6_30_016.hex (中間ファームウェア)
②	DGS1210_Fx_FW6_31_B038.con

※ダウングレードの際は、.con ファイルのイメージから V6.20 以前のバージョンへ直接ダウングレードしていただけます。

※ダウングレードが可能なハードウェアには制限があります。

## アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、CLI (Telnet 経由) または Web GUI から実行することができます。

### CLI (Telnet 経由) を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア (例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド) を使ってスイッチに接続します。  
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。  
例 : telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。  
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download {firmware_fromTFTP {<ipaddr> <ipv6addr>} <path_filename (64)>}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image_id <integer 1-2> boot_up	ブートイメージを変更します。
show boot_file	スイッチの現在のブートイメージ ID 及びブートコンフィグ ID を表示します。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

- (1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

※V6.20以前のバージョンからアップグレードする場合、最初にv6.30.016 (.hex) にアップグレードし、その後

v6.31.B038にアップグレードしてください。V6.30.B022をご利用の場合、v6.31.B038に直接アップグレードいただけます。

す。

※V6.10.B010以降のバージョンをご利用の場合、ファームウェアは現在のブートイメージとは別のイメージに適用されます。

※V6.00.B023をご利用の場合、image\_idオプションを使用して適用するブートイメージIDを指定してください。

```
DGS-1210-52> download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 DGS1210_Fx_FW6_31_B038.hex
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off!
```

```
Please wait, programming flash..... 8 %
```

## (2) 現在のブートイメージのIDを確認します。

※V6.00.B023をご利用で、現在のブートイメージに上書きした場合は、手順（2）～（5）は実施不要です。ただし、R6.10においてイメージファイルの更新処理に関する変更が行われているため、新しいイメージファイルを現在のブートイメージに上書き適用した場合でも、アップグレード後、手動にて再度スイッチを再起動することを推奨致します。

```
DGS-1210-52> show boot_file
```

```
Bootup Firmware : image_2
```

```
Bootup Configuration : config_2
```

## (3) ブートイメージを指定します。

```
DGS-1210-52> config firmware image_id 1 boot_up
```

## (4) スイッチを再起動します。

```
DGS-1210-52> reboot
```

% Device will reboot, please wait a few minutes to re-login.

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

## (5) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DGS-1210-52> show switch
```

```
System name :
```

```
System Contact :
```

```
System Location :
```

```
System up time : 0 days, 0 hrs, 2 min, 31 secs
```

```
System Time : 01/01/2020 00:02:19
```

```
System hardware version : F1
```

```
System firmware version : 6.31.B038
```

```
System boot version : 1.00.009
```

```
System serial number : QBDGS12105200
```

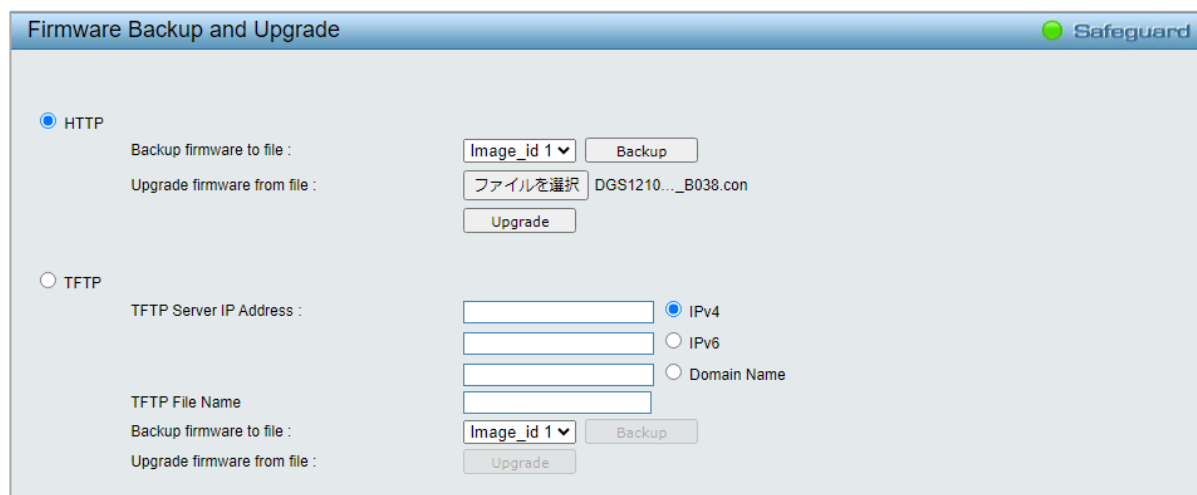
```
MAC Address : XX-XX-XX-XX-XX-XX
```

### Web GUI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。  
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90  
デフォルトのログインパスワード：admin
3. [Tools] メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。



**Firmware Backup and Upgrade** Safeguard

☒ HTTP

Backup firmware to file :

Upgrade firmware from file :

☐ TFTP

TFTP Server IP Address :  ☒ IPv4 ☐ IPv6 ☐ Domain Name

TFTP File Name

Backup firmware to file :

Upgrade firmware from file :

**HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：**

- (1) [HTTP]を選択します。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。

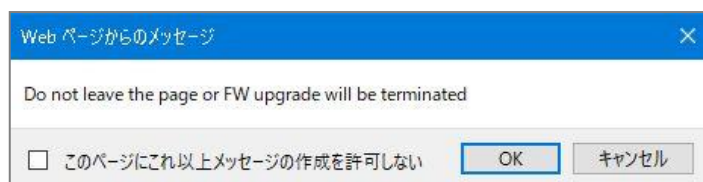
※V6.20以前のバージョンからアップグレードする場合、最初にv6.30.016（.hex）にアップグレードし、その後v6.31.B038にアップグレードしてください。V6.30.B022をご利用の場合、v6.31.B038に直接アップグレードいただけます。

※V6.10.B010以降のバージョンをご利用の場合、Image ID の指定はできません。指定 ID にかかわらず、新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。

- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (6) 「Firmware Upgrade successfully.」のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

**TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：**

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]に TFTP サーバの IP アドレス、[TFTP File Name]にファームウェアのファイル名を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。

※V6.20以前のバージョンからアップグレードする場合、最初にv6.30.016（.hex）にアップグレードし、その後v6.31.B038にアップグレードしてください。V6.30.B022をご利用の場合、v6.31.B038に直接アップグレードいただけます。

※V6.10.B010以降のバージョンをご利用の場合、Image ID の指定はできません。指定 ID にかかわらず、新しいイメージファイルは現在のイメージ ID とは別の ID に適用されます。

- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (5) ポップアップ画面に「OK」ボタンが出現しますので、「OK」をクリックして続けてください。

- (6) [System]>[Firmware Information]を選択します。  
※V6.00.B023 をご利用で、現在のブートイメージに上書きした場合は、手順（7）～は実施不要です。ただし、R6.10 においてイメージファイルの更新処理に関する変更が行われているため、新しいイメージファイルを現在のブートイメージに上書き適用した場合でも、アップグレード後、手動にて再度スイッチを再起動することを推奨致します。

5. 新しいイメージ ID を指定し、「Apply」をクリックします。ID の横に\*マークが付いている方が現在のブートイメージです。

**Firmware Information** Safeguard

ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User
1	6.31.B038	12922540	02/01/2021 18:02:33	192.168.10.100	admin (Web)
2	6.30.B022	12787372	01/01/2020 00:47:32	10.90.90.3	admin (Web)

Please select the boot up image of device.

Image id 1 ▼

Apply

6. 以下の画面で「Reboot」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。

**Reboot System** Safeguard

Do you want to save the settings ? ☒ YES ☐ NO

If you do not save the settings, all changes made in this session will be lost.

Reboot

6. 再度ログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップグレードされていることを確認します。

**Device Information** Safeguard

<b>Device Information</b>			
Device Type	DGS-1210-20 Gigabit Ethernet Switch	System Name	
Boot Version	1.00.009	System Location	
Firmware Version	6.31.B038	System Time	02/01/2021 18:30:14
Hardware Version	F1	System Up Time	0 days , 0 hours , 25 mins , 10 seconds
Serial Number	QBDES12105200	Login Timeout (minutes)	5
MAC Address			
<b>IP Address Information</b>			
IPv4 Address	192.168.0.51		
Subnet Mask	255.0.0.0		
Default Gateway	0.0.0.0		
IPv6 Global Unicast Address			
IPv6 Link-Local Address			

## 追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R6.31.B038	<ol style="list-style-type: none"> <li>DGS-1210-28P のハードウェアバージョン：F5 をサポート致しました。</li> <li>CLI による IPV6 のグローバルステータス設定に対応致しました。</li> <li>SNMP 機能において、コミュニティ文字列に特殊記号（\$@*!）が使用可能になりました。</li> <li>DHCPv6 リレー設定において、インタフェース毎の設定に対応致しました。</li> </ol>

## MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R6.31.B038	特になし

## 修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R6.31.B038	<ol style="list-style-type: none"> <li>リンクアグリゲーショングループのポートにおいて、MLD スヌーピングが動作しない問題を修正致しました。</li> <li>大量の NS/NA/RS/RA パケットの送受信が発生している場合、システムの Ping 応答が失われる問題を修正致しました。</li> <li>Web GUI のサーベイランスモードにおいて、Tools &gt; Reset System 画面および Tools &gt; Reboot Device 画面が一部欠けて表示される問題を修正致しました。</li> <li>ポートセキュリティ有効化時、学習済み MAC アドレスをスタティック MAC アドレスへ追加/削除した場合に、管理インタフェースへの接続が切断される問題を修正致しました。</li> <li>PoE 給電時、システム再起動後に POE Max エラーが発生する場合がある問題に対応致しました。 <ol style="list-style-type: none"> <li>自動復旧機能を実装</li> <li>PoE Global Settings 画面に「SW PoE Reset」を追加</li> </ol> </li> <li>SNTP サーバを有効化する場合、IP アドレスのデフォルト値（0.0.0.0）で保存できない問題を修正致しました。（デフォルト値を空欄に変更しました。）</li> <li>送信トラフィックに対する帯域制限が適切に動作しない問題を修正致しました。</li> <li>設定の保存やボタン操作を行い、電源コードを抜いたとき、シリアル番号、MAC アドレスがデフォルト値にリセットされる問題を修正致しました。</li> <li>IPv6 パケットの処理に関する不具合により、ネットワークが遅くなる場合がある問題を修正致しました。</li> <li>自動サーベイランス VLAN を有効化している場合、v6.30B022 へのアップグレード後に関連デバイスへの接続ができなくなる問題を修正致しました。</li> <li>IPv6 有効化時、WEB UI の接続が切断される問題を修正致しました。</li> <li>デッドロックにより WEB UI の接続が切断されることがある問題を修正致しました。</li> <li>DDP が有効な場合に、スイッチが再起動することがある問題を修正致しました。</li> <li>ARP リクエストに応答しなくなることがある問題を修正致しました。</li> <li>ネットワークスキャンツールによりメモリ使用率が高くなる場合がある問題を修正致しました。</li> </ol>

	16. 設定を保存しようとするエラーが表示される場合がある問題を修正致しました。
	17. セーフガード無効化時、大量のパケットを受信した際に管理インタフェースに接続できなくなる場合がある問題を修正致しました。
	18. 管理インタフェースへの接続が切断され、アップグレードに失敗する場合がある問題を修正しました。
	19. Asymmetric VLAN と競合する機能が有効な際に不適切なエラーメッセージが表示される問題を修正致しました。

## 既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題点
R6.31.B038	1. Firmware Upgrade において、Internal Flash への書き込み処理による CPU 高負荷のため、STP/RSP/MSTP、および LACP の動作が不安定になる場合がある問題。

**Copyright 2006-2024 D-Link Japan K.K.**